

◆◆日本発の健康経営が東南アジアへ◆◆

～株式会社 Canvas のタイにおけるグローバル展開と新たな可能性～

【はじめに】

島根県内企業の皆様にとって、東南アジア市場への展開は大きなチャレンジであると同時に、大きな成長機会でもあります。

本記事では、松江市の株式会社 Canvas が、島根県の海外展開支援を活用してタイの王立医科大学との連携を実現し、タイ市場への参入準備を進めている事例をご紹介します。

「地方の中小企業がどのようにして東南アジアで認知度を獲得し、信頼関係を構築していくか」——Canvas の3年間の取り組みは、県内企業の海外展開のモデルケースとなるはずです。

【企業概要と代表者プロフィール】

株式会社 Canvas（本社：松江市）は、「ともに創る」を理念に掲げ、地域、組織、個人の課題解決を目的として活動する地域共創ベンチャー企業です。同社は作業療法士の専門知識を活かした「療法士視点の課題解決型健康経営」を展開し、企業の「職業病」の解消を通じて、従業員の健康増進から生産性向上、労働力確保、企業価値向上へと繋げる革新的なサービス「Ciaeru」を提供しています。



同社の代表取締役を務める元廣氏は作業療法士、博士（Ph.D.）として、医療・教育・産業の各分野で活動する専門家です。作業療法士免許を取得後、複数の医療機関での臨床業務や大学で教鞭をとった経験を活かし、2021年に株式会社 Canvas を設立しました。現在、「日本で唯一、作業療法を活用して企業の健康増進を図る会社」として、医療と産業の架け橋となる活動を広く日本国内へ展開しています。

島根大学 CoHRE（The Center for Community-based Healthcare Research and Education）客員研究員、高知健康科学大学客員教授。また、タイの Princess Srisavangavadhana College of Medicine 他、国内外複数の大学の非常勤講師を務め、健康経営の知見を発信しています。

【Canvas のアプローチ——「治療」ではなく「予防」へ】

Canvas は、従来の「症状が出てから治療する」モデルではなく、「症状が出る前に予防する」アプローチを採用しています。作業療法士が企業に訪問し、従業員の身体評価を実施。腰痛・肩こりなどの具体的な問題を特定し、その場で改善アドバイスを提供します。さらに、評価結果をデータ化・可視化することで、企業全体の健康状態を把握し、効果的な健康経営施策の立案を支援します。

■Canvas が解決する社会課題——「職業病」という誰もが諦めていた問題

職業病とは何か

職業病とは、「特定の職業や労働環境に起因する身体的・精神的な健康問題」を指します。これは単なる個人の問題ではなく、「人（Person）」「環境（Environment）」「作業（Occupation）」の3つの要素が複雑に絡み合って発生する社会問題です。

企業にとっての経済的損失：

日本では、職業病に起因する労働損失が年間で約3兆円に達すると推定されています。これは、欠勤による損失（アブセンティーズム）よりも、出勤しているが生産性が低下している状態（プレゼンティーズム）の方が遥かに大きいことが分かっています。

■Canvas のサービス「Ciaeru」とは

Ciaeru は、作業療法士が企業に直接介入し、従業員一人ひとりの作業環境や身体の使い方を評価・改善することで、腰痛や肩こりなどの職業病を予防するという、これまでにない画期的

島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.132

なアプローチです。単なる健康診断や研修ではなく、実際の職場環境での「作業分析」と「個別指導」を組み合わせることで、根本的な問題解決を実現しています。

Ciaeru の 3 つの特徴：

1. **職業病の分析と可視化**：従業員の健康リスクを金額換算し、企業にどれだけの労働生産性損失があるかを明確化
2. **ワークショップによる意識改革**：管理職と従業員が一体となって健康課題を共有し、解決策を「ともに創る」
3. **実践的な改善策の実装**：講義、実地指導、フィジカルチェックを通じて具体的な改善を実現

■Canvas の具体的な成果——林業企業の事例

株式会社きこり（雲南市）において、Canvas は 3 年間にわたる健康経営支援を実施しました。作業療法士による現場視察とフィジカルチェックの結果、全従業員が「股関節が伸びない」という共通の身体特性を持つことが判明。これは傾斜地での長時間作業が原因でした。ワークショップで従業員全員が健康課題を共有し、職場で実践できるストレッチや身体の使い方を指導した結果、労働生産性損失が 230 万円削減、売上が前年比 120% に増加、受注件数が 30 件増加、離職率が大幅に低下しました。この取り組みは全国法人会「健康経営大賞 2022」でグランプリを受賞しました。

■これまでの日本での実績

Canvas は創業からわずか 4 年で、全国 40 エリア以上の都道府県に事業を展開するという驚異的な成長を遂げています。その実績は数々の賞や認証によって証明されています。

同社の社会課題解決の取り組みは、書籍『働く人と「ともに創る」作業療法』（クリエイツかもがわ）として出版され、その革新的なアプローチが広く認知されています。

【タイでの画期的な取り組み——医療・健康経営の国際展開】

■Princess Srisavangavadhana College of Medicine Chulabhorn Royal Academy での特別講義



2025 年 9 月 10 日の特別講義に参加した学生との集合写真

株式会社 Canvas のタイ展開は、島根県の海外展開支援制度を戦略的に活用したモデルケースです。

2023 年 2 月、島根県しまねブランド推進課海外展開支援室が、MOU を締結しているタイ国立キングモンクット工科大学 KX センターと連携し実施したビジネスマッチングプロジェクトに参加。このプロジェクトをきっかけに、元廣氏はタイ王室が設立した Princess Srisavangavadhana College of Medicine Chulabhorn Royal Academy（プリンセス・スリサワンワダナ医科大学チュラボーン王立アカデミー）との交流を開始しました。

この医科大学は、タイ王国のチュラボーン王女殿下（Her Royal Highness Princess Chulabhorn Krom Phra Srisavangavadhana）の名を冠した権威ある教育機関です。チュラボ

島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.132

ーン王女殿下は、化学博士号を持つ科学者としても知られ、医療・科学分野での国際的な貢献が高く評価されています。2021年に現在の名称に改称され、医学と公衆衛生の専門家を育成する重要な役割を担っています。

非常勤講師として、2023年から年に一度、バンコク現地へ赴き、同学にて特別講義を実施しています。2024年8月14日には、元廣氏とCANVAS事業統括マネージャーである爲國（ためくに）氏の2名で実施されました。この講義のテーマは「作業療法士とデータサイエンスを活用した活動のデザイン」で、日本における健康経営の実践例を紹介しました。

講義内容：

- 健康データサイエンス入門（Introduction to health data science）
- 作業療法士とデータサイエンスの統合アプローチ
- 企業における健康データの収集・分析手法
- 疾病予防とウェルネス推進のための実践事例

この講義は、タイの医学部学生および医療専門職から高い関心を集め、作業療法の新しい可能性を示す機会となりました。

2023、2024年の講義が好評を博したことを受けて、2025年9月10日にも、元廣氏による特別講義「HEALTH DATA & REAL-WORLD APPLICATIONS: Case Studies of Entrepreneurs 3」が実施されました。

講義内容：

- 起業家事例研究シリーズ第3弾
- 健康データの実社会への応用
- 日本における健康経営の具体的な成果
- タイにおける健康経営の可能性

この講義では、前回の内容をさらに発展させ、日本で実証されたCanvasのビジネスモデルをタイに適用する可能性について、より具体的な提案が行われました。



Princess Srisavangavadhana College of Medicine Chulabhorn Royal Academy

特別講義の広報画像

■作業療法と健康経営の国際的な架け橋——タイの医療ニーズに応える

元廣氏は作業療法士としての豊富な臨床経験と、企業の健康経営における実績を活かし、タイの医療専門職教育に貢献しています。日本で培った「職業病」の解消手法や、作業療法士の視点からの健康経営アプローチを、タイの医療教育現場に紹介する画期的な取り組みです。

■タイにおける健康データの重要性

タイでは、急速な経済成長と工業化に伴い、労働者の健康課題が顕在化しつつあります。しかし、従来の医療システムは「治療」中心であり、「予防」のための体系的なアプローチが不足しています。特に、以下のような課題が存在します：

1. 労働者の健康データが体系的に収集・分析されていない
2. 作業環境と健康リスクの関連性が科学的に評価されていない
3. 企業における予防的介入のモデルが存在しない
4. 作業療法士の産業分野への関与が極めて限定的

元廣氏の特別講義では、これらの課題に対する日本の先進事例を紹介し、以下のような内容が扱われました：

- **健康データの科学的分析手法**：企業における従業員の健康データを体系的に収集・分析し、職業病の予防に活用する方法
- **疫学的アプローチ**：作業環境と健康リスクの関連性を疫学的視点から評価し、エビデンスに基づいた介入を設計する手法
- **日本の健康経営の実践事例**：Ciaeru を通じて実現した具体的な成果と、企業における作業療法士の新たな役割
- **データドリブンな健康管理**：健康データを活用した予防的介入の重要性

■タイの作業療法の現状と Canvas モデルの親和性

大学での講義のためのタイ渡航に合わせ、2025 年 9 月 9 日、元廣氏はタイの作業療法の中心地であるチェンマイを訪問し、チェンマイ大学作業療法学科の教授、および労働者リハビリテーションセンターとの面談を実施しました。この視察を通し、タイにおける作業療法の現状と、Canvas のビジネスモデルの展開可能性について重要な知見を得ることができました。

■タイにおける作業療法の現状

タイでは約 40 年前の 1980 年代に最初の作業療法学科が設立され、これまでに約 1,980 名の作業療法士が登録されています。しかし、養成学校は現在でもチェンマイ大学、マヒドン大学、シーナカリンウィロート大学の 3 校しかなく、毎年卒業生は約 60 名程度と、人材育成のキャパシティには深刻な限界があります。

現在、タイの作業療法は主に以下の 4 つの伝統的な医療分野に集中しています：

1. **身体障害（Physical Dysfunction）**：病院での身体機能リハビリテーション
2. **小児（Pediatrics）**：学校での自閉症児、言語障害、身体障害児の支援
3. **メンタルヘルス（Mental Health）**：精神科病院でのリハビリテーションと社会復帰支援
4. **高齢者（Geriatrics）**：病院、リハビリテーションセンター、地域サービスでの支援

■チェンマイ大学教授の評価：Canvas モデルへの高い期待とタイ企業のニーズ

今回面談を実施したチェンマイ大学の教授は、上記のタイの現状を踏まえ、Canvas のビジネスモデルに非常に高い関心を示し、以下のように評価しました：

島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.132

「タイにはまだ予防の概念やビジネスモデルがなく、作業療法士の主な役割は治療とリハビリテーションに限定されています。今後、患者数は増加する一方で、作業療法士は依然として少なく、人材不足がさらに深刻化する可能性が高い状況です。

また、タイは現在、高齢社会に入りつつあり、日本と同様に労働力不足や熟練労働者の減少が問となっています。大企業の中には、熟練工を長く雇用し続けたいと考えているところが多く、Canvas の予防モデルは、熟練工がより長く健康に働けるようにするため、企業にとって非常に有益だと考えられます。

特に注目すべきは、Canvas のアプローチが従業員だけでなく、雇用主にも効果がある点です。職業病に関わる作業療法士は現在タイには何名かいますが多くはなく、労働者の健康促進は今後ますます重要になります。事業所で実施するこのような取り組みは、企業の経営者が従業員の健康に関心を持ち始めている現在の流れと合致しています。タイでは、従業員の健康が企業の生産性や競争力に直結するという認識が広がり、健康経営への投資意欲が高まっているのです。」



■労働者リハビリテーションセンターでの知見

労働者リハビリテーションセンター第3地域（チェンマイ）は、タイ国内に5カ所ある政府運営の労働災害リハビリ施設の一つです。2010年開設のこのセンターは、労働災害に遭った労

島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.132

働者や障害を持つ被保険者に対し、身体、心理、職業のリハビリを行い、社会復帰を支援しています。

センターの作業療法士は1日約20症例を担当し、患者宅を訪問して生活状況を確認する業務も行っています。しかし、このセンターの役割は「災害後の治療とリハビリ」に焦点が当てられており、Canvasが提唱する「予防」のアプローチは、タイの労働安全衛生分野においても新しい概念であることが確認されました。

【今後の国際的な連携の可能性】

■将来的な研究協力

将来的にチェンマイ大学の学生が工場労働者の健康に関する修士論文や博士論文を希望する場合、Canvasに研究協力を依頼したいと表明しました。タイでのモデル実証実験を通じて、学術的エビデンスを構築しながら事業を展開できる可能性が広がっています。

■世界作業療法士連盟（WFOT）との関係

2026年2月にバンコクで世界作業療法士連盟（WFOT）国際会議が開催され、世界中から数千人の作業療法士が集まる予定です。Canvasは、この国際会議を通じて、タイおよび東南アジア地域の作業療法士に対して「産業分野における作業療法」という新しい実践モデルを広める絶好の機会を得ることになります。

【島根県内企業の皆様へ——Canvas事例から学ぶ海外展開のヒント】

■このモデルから学べる3つのポイント

1. 教育機関連携からの市場参入

いきなり営業活動を始めのではなく、大学との学術交流から信頼関係を構築することで、現地での権威性と認知度を獲得できます。講師として専門知識を提供することで、学生や教授陣のネットワークを通じて、潜在顧客企業へのアプローチが容易になります。

Canvasの実践例：

2023年：Princess Srisavangavadhana College of Medicine で初回講義

2024年：講義内容を拡大し、日本の実践事例を紹介

2025年：ビジネスモデルのタイ適用可能性を具体的に提案

2026年：WFOT国際会議で更なる認知度向上（予定）

2. 島根県の支援制度の戦略的活用

県が既に構築している MOU や国際ネットワークを最大限に活用することで、単独では接点を持ちにくい王立大学などの権威ある機関との連携が実現します。また、渡航費補助などの実務支援も活用可能です。

3. 3 年以上の時間をかけた段階的な市場開拓

短期的な成果を求めるのではなく、段階的に関係性を深めていくことが重要です。

Canvas は 3 年かけて大学で知見を提供し、現地の課題を深く理解した上で、ビジネス展開を検討しています。この「売り込み」ではなく「貢献」の姿勢が、現地での信頼獲得の鍵となっています。

【まとめ——地域から世界へ、県支援を活用した新しいグローバル展開モデル】

株式会社 Canvas の取り組みは、島根県という地方都市から始まり、全国へ、そして国境を越えてタイへと広がっています。「ともに創る」という理念のもと、作業療法士の専門性を活かした健康経営という独自のアプローチで、日本国内だけでなく国際的にも社会課題の解決に貢献しています。

タイの Princess Srisavangavadhana College of Medicine での教育活動、チェンマイ大学との連携、労働者リハビリテーションセンターとのネットワーク構築は、Canvas がタイで事業を展開するための強固な基盤となっています。

Canvas の取り組みは、地方都市の中小企業が、グローバルな視点を持ちながら社会課題解決に挑戦する新しいモデルです。経済産業省のローカルゼブラ企業に選出され、国内外の大学や医療機関との連携を深めながら、「作業療法士による健康経営」という日本発のイノベーションを世界に広げています。

◆◆タイ政治の混乱とその影響◆◆

今年 6 月、カンボジアのフン・セン上院議長（前首相）との電話会議において、タイ・カンボジアの国境問題についての発言が問題視され、タイ憲法裁判所から首相の職務停止を命じられていたタイのペートンタン首相ですが、8 月 29 日に憲法裁判所から解職が命じられ、「タイ誇り党（プームチャイタイ党）」のアヌティン党首が新たな首相に指名されました。この 2 年で 3 人目の首相就任となりましたが、これからのタイの政治はどこに向かうのでしょうか。本記事では長年混乱が続いているタイの政治についてお伝えします。

・長年続く政治的対立の構造

タイの政治は、過去 20 年以上にわたり保守派と改革派の間で深刻な対立が続いています。保守派には王室を支持する王党派や軍部、官僚組織などが含まれており、国家の安定や伝統的価値観の維持を重視する傾向があります。一方、改革派には元首相タクシン・チナワット氏を支持する勢力や都市部の若者層、政治改革を求める市民団体などが含まれており、政治の透明性向上や社会的格差の是正、選挙結果を尊重した政権の樹立などを目指しています。この対立は、単なる政治的な思想の違いにとどまらず、都市部と地方の経済格差や社会的背景とも深く関係しています。保守派の支持基盤は財界や伝統的エリート、バンコクなどの都市部に住む富裕層であるのに対し、改革派は地方の農村部や低所得層、若年層から強い支持を受けています。

2001 年に首相に就任したタクシン氏は、地方への医療・教育・インフラ支援などの政策を積極的に推進し、農村部の人々から圧倒的な支持を得ました。しかし、2006 年に軍部がクーデターを起こしてタクシン首相を追放したことで政治的な対立が表面化し、それ以降軍部は憲法改正や選挙制度の変更を通じて政治への影響力を強め、選挙によって民意が示されても、それが政権運営に反映されにくい状況が続いています。こうした制度的な歪みにより、民主主義の形骸化が懸念されています。

2023 年に実施された総選挙では、革新的な政策を掲げる「前進党」が若者層を中心に支持を集め、第一党となりました。前進党は軍の政治介入の排除や憲法改正、王室改革など、従来のタブーに踏み込む姿勢を示したことで注目を集めました。しかし、議会では第二党の「タイ貢献党（タクシン派）」が親軍派・保守派と連立を組み、前進党は政権から排除される結果となりました。

首相にはタイ貢献党のセター党首が就任し、連立政権は一定の支持を得ましたが、保守派との妥協を余儀なくされる場面が多く、政権の安定性には課題が残りました。そして 2025 年初

島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.132

頭には、セター首相の後任であるペートンタン氏がカンボジアとの電話会談における失言をきっかけに辞任し、再び国内の政治的混乱が起きます。

このように、タイの政治は制度的な課題と価値観の分断が複雑に絡み合っており、安定した政権運営を実現することが難しい状況が続いています。今後の政治的安定には、制度改革と社会的対話の深化が不可欠であると考えられます。



画像引用：[LINE TODAY](#)

【アヌティン新政権の発足と不安定な連立】

新たに首相として指名されたアヌティン・チャーノンウィラクン氏は、タイ誇り党の党首でありながら、同党は議会内では少数派にとどまっています。そのため、アヌティン氏が首相に指名されるためには、2023年の総選挙で最多議席を獲得した前進党の流れを汲む「国民党（プラチャーチョン党）」からの支持が不可欠でした。

報道によれば、国民党が支持の条件として提示したのは、①4か月以内に総選挙を実施すること、②現行憲法の改正に向けた具体的な取り組みを約束すること、という2点です。アヌティン氏はこれらの条件を受け入れることで、首相指名を得ることに成功しました。ただし、アヌティン氏が率いるタイ誇り党は、王室を強く支持する保守的な立場をとっており、民主化や制度改革を掲げる国民党とは本来対立する政治的立場にあります。今回の支持は、国民党側にとってはあくまで憲法改正と解散総選挙の実現を目指すための「一時的な協力」とみなされており、根本的な政治的合意があるわけではありません。

実際に国民党は連立政権には加わず、野党としての立場を維持しています。さらに、「新政権が約束を反故にした場合には、不信任案を提出する」と明言しており、政権に対する厳しい監視姿勢を示しています。このような状況から、安定した政権運営がなされるまでには、なお時間がかかると見られています。



アヌティン新首相

画像引用：[タイ政府広報](#)

【今後の見通し】

このように、タイに政治は政権交代や連立の不安定さ、制度改革の停滞など、複数の要因が複雑に絡み合っているため、まだまだ先行きは不透明ですが、アヌティン首相が国民党との合意を守り、約束通り4か月以内に総選挙を実施した場合、2023年と同じく革新的な政策を掲げる国民党が再び議席を伸ばし、政権の主導権を握ることが予想されます。しかし、保守派や軍部による抵抗も予想されるため、選挙後の政権運営には慎重な調整が求められることになります。

一方でアヌティン政権が王党派や軍部からの支持を後ろ盾に総選挙や憲法改正の約束を反故にして、政権の座に居座り続ける可能性も十分考えられます。その場合、表面的には政治的に安定するものの、憲法改正や制度改革は後回しにされ、民意と制度の乖離がさらに広がることが懸念されます。

現在、タイ経済はローン審査の厳格化による自動車や不動産の販売不振、物価高・パーツ高による観光不振、米国による関税発効による輸出産業の減速などによって経済が低迷しています。このまま政治的な混乱が続くと外国企業による新規投資や事業拡張が見送られ、タイの製造業やサービス業のさらなる低下につながる恐れがあります。特に観光業や輸出産業といった外需依存度の高い分野では、政権の不安定さが国際的な信用を損なうリスクも高まります。経済の持続的な回復を実現するためには、一日も早く政治的な安定を実現することが求められます。

□■ダイバーの天国、タオ島■□



画像の出典：ダイビングセンター Black Turtle Dive

こんにちは。島根・ビジネスサポート・オフィスのタイ人スタッフ、ニンです。

今回は、ダイバーの天国と呼ばれるタオ島（Koh Tao）をご紹介します。タイの南部にあるタオ島は、私が一度はスキューバダイビングを体験してみたい憧れの場所です。今回は美しい海に囲まれ、豊かな海中の自然が広がるタオ島をご紹介します。

タオ島（Koh Tao）について

タイ湾に浮かぶ小さな島「タオ島(Koh Tao)」は、タイ南部のサムイ島やパンガン島の北に位置する、自然豊かな島です。「タオ」はタイ語で「亀」を意味し、昔からアオウミガメ (Green Sea Turtle)やタイマイ(Hawksbill Sea Turtle)が多く生息していることから、この名前が付けられたと言われています。

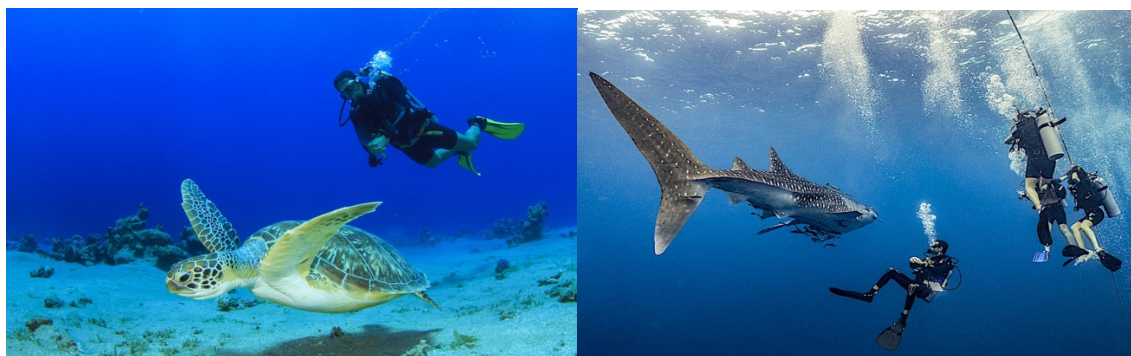
タオ島への行き方

タオ島には空港がないため、船でアクセスする必要があります。バンコクからタオ島へ行くには、まず飛行機やバスでチュムポン県またはスラートターニー県まで移動します。その後、チュムポン県の港またはスラートターニー県の港から船に乗るのが一般的です。チュムポンの港からは船で約2時間、スラートターニーの港からは約3時間かかります。移動時間を短縮したい場合は、バンコクからスラートターニー県のサムイ島まで飛行機で行き、サムイ島の港から船に乗る方法もあります。この場合、サムイ島から約1時間半で到着します。

タオ島の魅力

タオ島は透明度の高い海に囲まれているため、ダイビングやシュノーケリングに最適な観光地です。また、緑豊かな自然に恵まれており、トレッキングを楽しむこともできます。タオ島を訪れたら、ぜひ体験していただきたい観光スポットとアクティビティをご紹介します。

- シュノーケリングとダイビング



画像の出典：ダイビングセンターである Black Turtle Dive

タオ島の豊かな海は、世界中のダイバーを魅了しています。ダイビングやシュノーケリングでは、アオウミガメ (Green Sea Turtle) やタイマイ (Hawksbill Sea Turtle) に出会えるほか、運が良ければ絶滅危惧種のジンベエザメ (Whale Shark) に遭遇することもあります。ダイビング好きの方には、特におすすめのスポットです。

- ナンユアン島 (Koh Nang Yuan)



画像の出典：タイ国政府観光庁の公式サイトである Amazing Thailand

島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.132

タオ島の北西約 15 分の場所にあるナンユアン島**(Koh Nang Yuan)**は、3 つの小島から成る美しい島です。こちらでも海の自然が豊かで、シュノーケリングやダイビングを楽しめます。干潮時には、3 つの島を結ぶビーチが現れる絶景を望むことができます。

● 絶景とハイキング

タオ島では、マリンアクティビティだけでなく、美しい景色やトレッキングも楽しめます。島内には、ジョンスワンビューポイント(John Suwan Viewpoint)や Sairee Beach-Tanote Peak ハイキングトレイルなど、複数のビューポイントやハイキングコースがあります。海以外のアクティビティをお探しの方にもおすすめです。



画像の出典：旅行コミュニティサイトである Trip advisor

タオ島のベストシーズン

タオ島は季節によって雰囲気や楽しめるアクティビティが変わりますが、ベストシーズンは3月から9月です。この時期は雨が少なく、シュノーケリング、ダイビング、海水浴、ハイキングなど、さまざまなアクティビティを存分に楽しめます。

最後に

タイには、ダイビングやシュノーケリングを楽しめる観光地が数多くありますが、アオウミガメ、タイマイ、絶滅危惧種のジンベエザメなどに出会えるのは、タオ島ならではの魅力です。ぜひ一度、タオ島を訪れてみてください。

島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.132

※掲載情報はご自身の判断と責任におきましてご活用ください。

※別紙に、年内に開催予定のタイ・インドネシア・ベトナムの展示会情報をまとめました。

サポートオフィスでは、現地で開催される展示会へのアテンドも行っております。

関心のある展示会がございましたら、お気軽にご連絡ください。

担当：柴田 隼介 Shunsuke Shibata

Address: 1 VASU1 Building, 12 FL., Room 1202/D, Soi Sukhumvit 25,
Sukhumvit Rd., Klongtoey-Nua, Wattana, Bangkok 10110

Mobile: +66(0)63-228-4585

Mail : shimane-bizsup@aapth.com

島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.132

➤ タイ経済指標

項目	単位	2022	2023	2024	2025
GDP 成長率	前年比 (%)	2.7	1.9	2.6	3.0 (6 月)
人口*	千人	69,922	70,104	70,269	70,366 (7 月)
労働者の数*	千人	40,143	40,674	40,356	40,229 (8 月)
失業率**	%	1.32	0.98	1.00	0.84 (8 月)
最低賃金* バンコク	バーツ／日	353	353	363	400
チョンブリー		354	354	361	400
アユタヤー		343	343	350	357
ラヨーン		354	354	361	400
賃金：全国製造業の平均	バーツ	14,305	14,416	14,394	14,394 (2024 年)
インフレ率**	前年比 (%)	6.08	1.23	0.06	-0.72 (9 月)
中央銀行政策金利*	%	1.25	2.50	2.25	1.50 (8 月)
普通貯金率**	%	0.28	0.40	0.39	0.20 (8 月)
ローン金利 (MLR) **	%	5.50	6.83	7.14	7.11 (8 月)
SET 指数*	1975 年：100	1,668.66	1,415.85	1,400.21	1,247.17 (9 月)
バーツ／100 円**	バーツ	26.78	24.82	23.33	22.37 (9 月)
バーツ／米ドル**	バーツ	35.06	34.80	35.29	33.12 (9 月)
円／米ドル**	円	131.38	144.07	153.72	147.94 (9 月)
車販売台数 (1 月からの累計)	台数	856,057	702,921	559,255	393,309 (8 月)
BOI 認可プロジェクト	件数	1,554	2,383	2,953	1,504 (6 月)
BOI 認可プロジェクト金額	10 億バーツ	618.62	750.12	973.14	904.06 (6 月)

*期末、**平均